

家庭数

令和5年12月18日  
(2023年)

保護者の皆様へ

吹田市立吹田第六小学校  
校長 田 淵 久 美 子

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

全国の児童・生徒の課題改善に向けた教育及び教育施策の成果と課題を検証し、児童・生徒の学力及び学習状況の改善を図るために、6年生を対象として、『全国学力・学習状況調査』が本年4月に実施されました。8月下旬には自らの学習到達状況を正しく把握するため、個人票とともに、問題用紙と正答例をあわせてお返ししました。吹田市教育委員会においても、今回実施した調査についての成果および課題・問題点を分析し、吹田市教育委員会のホームページに掲載されております。

この調査は、小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、今年度の実施教科は国語・算数の2教科ですが、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

全国における調査を客観的に分析することにより、どのような指導形態がより効果的であるかをしっかりと見極め、学校全体あるいは小学校・中学校における連続した取り組みとなるよう、具体的な指導法の工夫改善を図ってまいります。

各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願い致します。

### 1 教科に関する調査の分析

#### (1) 国語

##### 《概要》

- ☆ 学年別漢字配当表に示されている漢字については、比較的覚えていて、文中で正しく使うことができています。
- ★ 複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることに課題がある。

## 《各領域における成果と課題》

### 【知識及び技能】

#### 言葉の特徴や使い方に関する事項

- 全国値をやや上回っている。
- ◎送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことはできている。
- ・文章の種類とその特徴についての理解に課題がある。
- ・日常よく使われる敬語を理解することに課題がある。

#### 情報の扱い方に関する事項

- 全国値をやや下回っている。
- ・原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題がある。
- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。

### 【思考力、判断力、表現力等】

#### 話すこと・聞くこと

- 全国値を下回っている。
- ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることに課題がある。
- ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに大きな課題がある。

#### 書くこと

- 全国値とほぼ同じである。
- ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

#### 読むこと

- 全国値を下回っている。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約したものを、選択することに課題がある。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。

## ◇国語科における成果と今後の指導改善点

- ① 「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、知識及び技能であり基礎学力の成果と課題が明確となりました。これまでに、漢字練習を積み上げてきた成果と読書活動の効果もあり、漢字を覚え、正しく書くことはできています。ただ、敬語の理解や使い方については課題があります。今後、社会の中で自立して生きていくには、現在の日本、敬語の正しい活用は必要です。
- ② 「話すこと・聞くこと」における思考力・判断力・表現力に課題があります。国語科の領域では『話すこと』になりますが、自分の考えをまとめる力や工夫して伝える力に大きな課題があります。普段はおしゃべり好きで、よく話しますが、「話す内容」に条件があったりすると、たちまち苦手意識が目立ちます。今回の調査ではそれが、はっきりと表れました。  
話を聞くときは、メモをすること、文章を読むときは線を引くことやマーカーを入れることなど、改めて「学び方」を習得することが大切です。
- ③ 無回答率0.0%が、14問中6問もあり伸びました。粘り強く取り組んできた成果だと考えます。無回答率が低い問題は正答率も高く、今後も無回答率0.0%をめざします。

以上、3点を国語科における重点課題と考え、以下の改善を図ります。

引き続き、言語活動や表現活動を豊富に取り入れ「言語能力」の向上を図るとともに、充実感や達成感から自信につながるような、教育活動を行います。

昨年度より、子どもたちが苦手意識の高い「書く」領域に重きを置き、授業研究や授業改善に取り組んできました。

- ・子どもたちが興味を持って取り組める内容
  - ・相手意識（低学年向け・クラスの友だちなど）を持たせて取り組む
  - ・子どもたちが、ゴール（めざすところ）を理解する など、
- 今後は「書く」領域だけでなく、すべての領域で上記3つの充実を図ります。

一人1台端末（iPad）を、より効果的に活用し、子どもたちが自ら学びたいと感じる授業改善に努めるとともに、「話し合う」「発表する」「まとめる」際にiPadを活用して、相手にわかりやすく伝える方法を獲得させたいと思います。iPadでの図表やグラフ作成、写真や映像の活用方法、提示の仕方など。

無解答率0.0%は、粘り強さの成果であると考えます。今後も最後まであきらめずやり遂げることで、得られる達成感を味わえる取組みを重ねること。また、困難なことにも立ち向かう自信や気力を養うよう努めます。

## （2）算数

### 《概要》

- ★ 図形を構成する要素などに着目して、図形の性質や計量について考察することに課題がある。
- ★ 記述式の問題について、数学的（言葉・式・数字を用いて）に回答することに課題がある。

### 《各領域における成果と課題》

#### 数と計算

全国値を下回っている。

- ・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることはできているが、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることに課題がある。
- ・示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。
- ・（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がある。

#### 図形

全国値を下回っている。

- ・正方形の意味や性質について理解することはできている。
- ・正三角形の意味や性質について、操作を通して理解することに課題がある。
- ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。

#### 変化と関係

全国値とほぼ同じである。

- ・伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係でないことを説明するために、示された表の中の適切な数の組を選ぶことはできている。
- ・伴って変わる二つの数量が比例にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを記述することに課題がある。
- ・百分率で表された割合について理解することに課題がある。

## データの活用

全国値をやや下回っている。

- ・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることはできている。
- ・示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを記述することに課題がある。
- ・二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。

## ◇算数科における成果と今後の指導改善点

- ① 「図形」領域に課題があります。目的の図形をつくるために、どのような操作をすればよいか、図形の意味や性質を基に、見通しを立てることが重要です。今回の問題はテープ（上と下の直線は平行で同じ幅）をつかい、具体的な数値が示されていない場面においての問題もあります。問題を解決する際に、必要な情報を見いだせるか、あるいは、適当な数値を当てはめて考えることができるかが、重要になります。

「数と計算」領域において、整数の計算や筆算の仕方は理解していると思われるが、なぜその解答を導き出したのか、なぜその操作をするのかを理解していないことが、明確になりました。

(2位数) ÷ (1位数) の筆算 →  $66 \div 3$  について、図を基に、各段階の商の意味を考える問題を吹六っ子の特徴的な課題として、右のページにピックアップ問題として取り上げ、分析説明します。

- ② 数学的に記述(説明)する力に課題があります。理論的・発展的に考察して数学的に表現することが必要です。

以上、3点を算数科における重点課題と考え、以下の改善を図ります。

引き続き、論理的な思考が身につくよう、授業において、児童が多様な考え方に触れていく機会をより一層つくっていきます。問題を読み解く力は国語科である「読むこと」領域の力が必要であるため、さらに国語科授業の充実を図ります。

体験(作業)を伴う数学的活動を授業の中にたくさん取り入れ、楽しみながら、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行します。例えば、図形の領域であれば、実際に図形を作ったり、分解したりしてみる。ある事象をグラフする場合、棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフなど、適切であるグラフを導く際、いったん、すべてのグラフで表して考察する。このようなプロセスを踏むことで、筋道を立てた考え方や、数学(算数)用語をつかって説明ができるよう、めざします。

具体的な日常の場面に対応させながら、考えさせる指導を取り入れます。

## <ピックアップ問題>

けいたさんは、 $66 \div 3$  の筆算について、次のように図を使ってふり返りました。

【 $66 \div 3$ の筆算】	【けんたさんの説明】
手順1 $3 \overline{)66}$	10を⑩、1を①で表して、60について考えます。 ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ① ① ① ① ① ①
手順2 $2 \overline{)66}$ 6	⑩ ⑩   ⑩ ⑩   ⑩ ⑩ ① ①   ① ①   ① ①
手順3 $2 \overline{)66}$ 6 6	6について考えます。 ⑩ ⑩   ⑩ ⑩   ⑩ ⑩ ① ①   ① ①   ① ①
手順4 $22 \overline{)66}$ 6 6	⑩ ⑩   ⑩ ⑩   ⑩ ⑩ ① ①   ① ①   ① ①
手順5 $22 \overline{)66}$ 6 6 0	⑩ ⑩   ⑩ ⑩   ⑩ ⑩ ① ①   ① ①   ① ①

【けいたさんの説明】をもとにすると、 $66 \div 3$  の計算を、下のよう考えることもできます。

$$\begin{aligned}
 66 \div 3 &= (60 + 6) \div 3 \\
 &= \underbrace{60 \div 3}_{\text{あ}} + \underbrace{6 \div 3}_{\text{う}} \\
 &= \underbrace{20}_{\text{い}} + \underbrace{2}_{\text{え}} \\
 &= 22
 \end{aligned}$$

【 $66 \div 3$  の筆算】の手順2で十の位にたてた「2」は、上の式のあ、い、う、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

手順2

$2 \overline{)66}$ 6	正解は い
-------------------------	----------

この問題は、3年生・4年生の学習内容となりますが、今回、子どもたちに見えた課題は、3年生の領域、**除法(わり算)に関わる数学的活動を通して、身に付ける思考力、判断力、表現力**です。

子どもたちは、整数の(2位数) ÷ (1位数) についての筆算はできます。しかし、各段階(手順1~5)の意味を、正確に理解することに課題がありました。

特にうと解答した子どもたちは、筆算の仕方や商の導き方を学んだ際、位を横に置き、数字だけに着目していることが多かったのでしょう。筆算はやりやすいだけでなく意味がります。だからこそ、今もなお活用されているのです。数字だけに着目した子どもたちは  $6 \div 3$  を選択したと考えます。

**図を用いたけいたさんの説明を言葉にしてみましょう。**

手順2 → ⑩6個を3等分します。だから  $60 \div 3$  です。

手順4 → ①6個を3等分します。だから  $6 \div 3$  です。

思考力、判断力、表現力を育むため、今後は、筆算を具体物や図に表すことで、式と関連付けて考察できるような授業展開を追及していきたいと思ひます。

## 2 生活習慣や学習環境「質問紙調査」に関する調査の分析

### 《概要》

昨年度より質問の数が10個項目ほど少なくなっています。  
令和5年度の質問は59項目、そのうち、新設された項目は19項目です。  
新設された項目には(新)と記します。

学習に対する姿勢や思い入れがあることはわかる。ただ、自分で計画を立てたり、工夫して学びを進めたりすることに課題がある。また、表現する力(アウトプット)はあるのに、積極性や創意工夫に課題あり。

違いを認め合い、高め合う気持ちがある。  
困っている人を助けることができ、自ら「助けて」と、SOSを出せる力がある。

### 《教科・学習について》

#### 国語科・算数科における意識を問う質問(12問)

全国値を上回っている質問

- ◇国語の勉強は好きですか
- ◇国語の授業の内容はよく分かりますか
- ◇国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか(新)
- ◇国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか(新)
- ◇国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか
- ◇算数の勉強は大切だと思いますか

全国値をやや上回っている質問

- ◇国語の勉強は大切だと思いますか
- ◇国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか
- ◇算数の勉強は好きですか
- ◇算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか

全国値とほぼ同じ質問

- ◇国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか
- ◇算数の授業の内容はよく分かりますか

#### 英語における意識を問う質問(5問)・・・すべて新設された質問

全国値を上回っている質問

- ◇将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか(新)

全国値とほぼ同じ質問

- ◇英語の勉強は大切だと思いますか(新)
- ◇これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(新)  
(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英語教室に通うなど)
- ◇家庭学習の課題(宿題)として、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか(新)

全国値を下回っている質問

- ◇英語の勉強は好きですか(新)

### 《学習環境・生活環境について》

#### 主体的に学び、表現しようとする「チカラ」を問う質問

- ★「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」肯定的な回答が全国値を下回り、半数の子どもがうまく発表(アウトプット)できていないと感じている。
- ★「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」肯定的回答は7割弱で、全国値を下回っている。
- ☆「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」肯定的回答率は8割以上で、全国値を上回っている。
- ☆学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているとの肯定的回答率は9割以上で、全国値を上回っている。
- ☆学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているとの肯定的回答は7割～8割程度であり、全国値とほぼ同じである。
- ☆授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている肯定的回答は8割～9割程度と全国値を上回っている。(新)

### 自分で計画を立てる「チカラ」を問う質問

- ★家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）の質問では、4割近くの子どもたちが計画を立てていないことがわかる。
- ★総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると肯定的回答は7割いるが、全国値をやや下回っている。

### 自分との違いを認め合う「チカラ」を問う質問

- ☆自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますかの質問では、約8割の子どもたちが肯定的である。
- ☆あなたの学級では、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると、感じている子どもは8割近くいる。
- ☆道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると感じている子どもは9割以上いる。

### メディアバランスについて考え行動する「チカラ」を問う質問

- ★学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか（電子書籍含む 教科書参考書、漫画や雑誌は除く）の質問で、1時間以上と回答したのは、1割に満たない。
- ★昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、図書室や図書館にどれくらい行くかの質問で、週1回以上との回答は、1割に満たない。
- ★読書は好きですかの質問で、肯定的な回答は6割弱に留まり、課題がある。
- ☆「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に1回以上使用した」との回答は8割以上いる。
- ☆学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと肯定的回答は9割以上いる。
- ★学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）の質問で、1時間以上と回答したのは、1割にとどまった。（新）
- ★新聞を読んでいますかの質問において、週に1～3回程度読んでいる子どもは、1割いない。



### 上記4つ以外の項目で、本校の重点取組みに係る「チカラ」を問う質問

- ☆学校に行くのは楽しいと思うと回答をした子どもは8割以上いるが100%をめざしたい。
- ★自分にはよいところがあると思う肯定的回答率は8割に届かなく、自己肯定感の低さにはまだ課題がある。
- ☆先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思っている子どもは、9割以上いて、全国値を上回っている。
- ★将来の夢や目標をもっている子ども、7割以上いるが、全国値を下回っている。
- ☆人が困っているときは、進んで助けている子どもは9割以上いて、全国値をやや上回っている。
- ☆いじめはどんな理由があってもいけないことだと回答した割合は9割以上いるが、100%をめざしたい。
- ☆困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できるかの質問では8割以上の肯定的回答があり、全国値を大幅に上回っている。
- ☆人の役に立つ人間になりたいと思うかの質問では、ほぼ100%の子どもが、そう思っている。

## 3 今後の取組み

「あたたかい聴き方・やさしい話し方」につつまれた学校づくりをめざします。

「成長を実感できる書く言語活動の研究」

資質能力を始発点として設定した「能力ベース」の授業づくり

考えをつなげる学び方の推進

に引き続き力をいれます。

今年度は『書く』言語活動に重きを置いています。吹六っ子にとって「言語能力の向上」は重要課題です。教科を問わず、授業の中で話し合い活動や書く活動、発表（アウトプット）の機会を増やし、言語活動の充実を図ります。

主体的に学び、表現しようとする子どもは増えてきました。今後は子どもの前向きな姿勢を能力に繋ぐような授業展開をめざします。

多様性教育を柱に、自己肯定感や人権意識を高め、いじめの無い仲間づくりをめざし続けています。その成果は毎年伸びています。今後も友だちとともに学び合い、喜び合う素晴らしさを実感させ、豊かな心・思いやりの心を育みます。

道徳科の授業やいじめ予防授業、セサミストリートカリキュラムの充実と研究を図ります。

家庭学習の習慣が身に付くよう、ご家庭と連携しながら「学びに向かう力」の、さらなる育成を図ります。

子どもたち一人ひとりを認め、一人ひとりを大切にして、自己有用感を高める取組みを実施してきました。その成果は「質問紙調査」からもわかります。今後も教職員一同、愛情たっぷりに子どもたちと関わっていきます。